

ボランティア活動をする際のポイント

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ボランティア活動の中止や延期を余儀なくされ、今後いつから、どのように活動を再開すればよいのか…など、不安の声が聞こえてきています。

正解があるわけではありませんが、「新しい生活様式」を踏まえた活動へ変化させながら、少しでも不安を軽減しながら、笑顔で楽しく活動していきましょう！

ボランティア活動をする際には…

ボランティアも
依頼者（活動先）も
感染予防！

- 発熱や体調不良のときは活動自粛
- マスクの着用（咳エチケット）。
- こまめな手洗い
- アルコール消毒液の用意
- よく触る部分の定期的な消毒



熱中症にも
注意！

- 定期的な（1時間に2回以上の）換気
- 室内の人数制限（会場の定員の半数以下）
- 人と人との間隔を2m（最低1m）確保
- 会話するときや座席などは向き合わない
- 歌唱や呼気が激しくなるような運動は行わない

3つの密
(密閉・密集・密接)
を避ける

感染拡大防止
のために

当日の活動者・参加者名簿をつくり、連絡手段を確保

- 活動時間の短縮
- 屋外で活動
- オンライン（インターネット上）で活動
- 郵便やポスティング、LINEなどの活用
- 時間や場所、グループを分けて活動



その他の
工夫

★活動の目的を改めて確認し合い、お互いに安心して活動できる方法についてアイデアを出し合い、工夫しましょう！

※ 本紙は、「新しい生活様式（厚生労働省）」や「新型コロナウイルス感染症に気をつけて通いの場を開催するための留意点（厚生労働省）」等を踏まえて名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンターが作成しました。今後の新型コロナウイルス感染症の状況によって変更となる場合があります。

令和2年6月作成